

今日ここで表彰された皆さんだけでなく、勝ち負けを問わず、練習から本番、レギュラーから控え、応援した皆さん全員をたたえます。強く心がふるえる体験、そして仲間の心をふるわせる体験をしましたね。

皆さんほどではないですが、私の心がふるえたことを5つ紹介し、最後におとぎ話を一つお話します。5分にまとめますので早口で。

- 1つ、3年生の修学旅行で生徒の一人が体調を崩し、途中の行動を別にしました。体調が戻ったことを学年主任の西野先生が生徒に話したら、目に涙を浮かべてほっとしている子がいました。心の優しさに、心ふるえました。
- 2つ、掃除中、2年生のあるクラスの窓の白い曇りを透明なテープで剥がしていたら、生徒が放課も使って手伝ってくれました。気前のよさに心ふるえました。
- 3つ、1年生のあるクラスで「しかし」の発音が問題になっていました。私が間違ったことを教えてしまい、数日後に教室にあやまりにきました。そうしたらなぜか「拍手」をくれました。拍手の温かさに、心がふるえました。
- 4つ、特別支援学級の生徒が「校長先生、校歌覚えてないでしょ。今度歌うから来てね」と誘ってくれ、授業で歌ってくれました。心遣いに、心ふるえました。
- 5つ、地域の環境美化、祭のお手伝い、センサーライトの点検などの地域のボランティアに参加する子が4月から今までに41人もいました。人に喜んでもらえるボランティアは、人ができる最高の「貢献」活動です。本当にありがとう。

生徒の皆さん、こうした心ふるえる体験を友だちと語り合ってみてください。そして、心ふるえる、ふるわせる時間を重ねて一流人に近づいてください。

最後に、短いおとぎ話を、スライドで紹介します。

おとぎ話「ヒバリ」

人はみんななどではなく一人でもやる！と決心できたとき、自ら踏み出すことができ、それが自分と社会の未来を創っている・・・というトヨタ高岡工場で受け継がれているお話 出典：ものの見方が変わる 座右の寓話（戸田智弘 著）

命は一つ、命を大切に。

人生は一度きり、今、ここを大切に。

9月に、笑顔いっぱいの皆さんに会えるのを楽しみにしています。